

げんこつ山のためきさん



こどもの様子

- ・ある物に見立てて遊ぶ
- ・日常生活の動作をイメージするようになる。
- ・歌と動きに意味があることを理解する

せっせっせーの

両手をグーにして前に出し
上下に3回振る。



よいよいよい

両手をグーにしたまま、片方の腕にもう片方の腕に乗せ、腕を交差させながら上下に3回振る。



げんこつやまのためきさん

両手をグーにして、上下を替えながら7回打ち合わせる。
(月齢が低い場合は、とんとんだけ)



おっばいのんで

両手を口のそばにもっていき、指を2回バクバクする。



ねんねして

両手の平を合わせて、左右1回ずつほおにつける。



だっこして

両手を胸で合わせて、だっこするしぐさをする。



おんぶして

両手を後ろに回して、あかちゃんをおんぶするしぐさをする。



またあし

両手をグーにして、胸の前で上下にぐるぐる回す。



た

じゃんけんをする。



昭和時代(1926年)に入ってから生まれたわらべ歌です。日本では非常に有名です。

ミルクを飲むしぐさも、抱っこや寝んねも子どもにとっては体験済みのことから、表現しやすいです。また、よく知っているものを少し発展した形は、知っている安心感と新しいものへの好奇心を両方もたせてくれます。

遊びの発展：

じゃんけんをして勝った方がおんぶしてもらったり、負けた方が背負ってみたりするのもおもしろいでしょう。

親子で向かい合って、実際に抱っこしたり、おんぶしたりすると、子どもは喜びます。

こんな場面で

- ・電車や車に乗って退屈になったとき
- ・家事の合間に
(歌を歌ってあげるだけで遊びだすかも)
- ・寝る前に